

KT-600 拡大自動切断機

K K 田 中 製 作 所 *

KT-600拡大自動切断機は次の特長を完備している上に TANAKA TRAVERS に採用したエレクトロニックスをさらに伸展活用して機械機構と共に全く新しいシステムを採用した拡大型切断機である。

拡大率は正確で狂いの生じることがない。

拡大率は歯車比（機械的、電気的なものを含む）によつて正確に決められるので絶対に狂わない。

大型切断機機構の製作も可能である。

切断有効面積は本方式を採用すれば自由に選ぶことができる。例えば横 3m、縦 15m 又はそれ以上の切断機機構でも製作することができる。

大型小型に関係なく高精度の切断機機構を製作することができる。

精度は切断機機構の大きさには関係なく縦横の位置規準であるラック又はスクリューの精度にのみよるので大型切断機機構の場合でも小型の場合でも同様精度よく製作することができる。

* 東京都台東区竹町128

拡大率は御仕様により 10倍又は 100倍の倍率を製作することができる。

K T-600 は拡大率が10倍のものと 100倍のものを製作しており、例えば10倍のテンプレットですと精密に墨書きした $\frac{1}{10}$ の図面を直接使用するが 100倍だと $\frac{1}{10}$ の図面を又 $\frac{1}{10}$ の写真縮少にして使用する。

自動倣い方式である。

テンプレットの追跡（倣い機構）はフォトトランジスターと新しい電気的定速駆動方式による自動倣い式なので手動誘導その他のような操作の煩雑さは全然ない。

切断機機構の切斷位置を一目で知ることができる。

切断機の現在位置と自動倣いの状態が直径 350mm のスクリーンに現寸大に映写されるので操作が非常に楽である。

切断機機構をリモートコントロールすることができる。

K T-600はパイロット・トレーサー・パネル（自動倣い装置）と切断機機構とに分け、両者は全然機械的結合ではなく電気的に接続してあるからパイロット・トレーサー・パネルだけ塵埃のない個所に設置して切断機機構をリモートコントロールすることができる。勿論全操作はすべてこのパネルにより行う。

一台のパイロット・トレーサーで多数の切断機機構を多駆動することができる。

パイロット・トレーサーと切断機機構はそれぞれ独立していて、両者間は信号のみで動力の伝達がないので一台のパイロット・トレーサー・パネルで二台以上の切断機機構を多駆動することができる。